

事業番号	事務事業名	肉用牛生産組合組織育成補助金	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
03320	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	畜産係	担当者・シート作成者	山崎 壽
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則、鏡野町肉用牛生産近代化計画ほか		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・鏡野町和牛生産組合員(晴れの国岡山農業協同組合津山地域和牛改良組合鏡野支部)の活動に対し、補助金を交付する。 ・業務手順は、①交付申請書の受理、②交付決定通知、③実績報告書の受理、④確定通知、⑤請求書の受理、⑥補助金の支払(前金払いする場合もあり)	・和牛生産組合は、H17.4.23に鏡野町内の和牛飼育農家を構成員とし、和牛飼育技術の向上、和牛経営の合理化及び農業経済の向上と安定を図ることを目的に設立された。農業協同組合の合併に伴い組織が再編され、令和2年度より晴れの国岡山農業協同組合津山地域和牛改良組合鏡野支部となった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 晴れの国岡山農業協同組合津山地域和牛改良組合鏡野支部	ア 組合の構成員数(4/1時点)	人	見込 実績	24 24	24 21	21 21	21 21	21 21
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 和牛飼育農家の技術、意欲の向上	ア 研修会等参加延べ人数	人	目標 実績 達成率	35 36 102.9%	35 41 117.1%	35 29 82.9%	35 35	35 82.9%
イ	イ 町内農家の飼育頭数(繁殖肉用牛、子牛)	頭	目標 実績 達成率	260 275 105.8%	260 305 117.3%	260 305 117.3%	260 260	260 117.3%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 補助金実績報告書等の受理審査	ア 実績報告書等受理件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1	1 100.0%
イ	イ 補助金を支払う団体数	団体	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1	1 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	04	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号		
	一般会計		農林水産業費		農業費		畜産業費		08	01	肉用牛生産組合組織育成補助金				03320		
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	330	330	330	330	330		一般財源	330	330	330	330	330					
合計	330	330	330	330	330		合計(A)	330	330	330	330	330	0				
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1					
							延べ業務事務時間	100	100	100	100	100					
							人件費計(千円)(B)	338	350	334	335	335	-16				
最終予算額		330千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		668	680	664	665	665	-16		
主な支出事業内容(予算)	和牛生産組合活動助成						330千円		主な支出事業内容(決算)	和牛生産組合活動助成						330千円	

事業番号	03320	事務事業名	肉用牛生産組合組織育成補助金	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------------	------	-------


4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
畜産農家の後継者不足等により廃業が進み、組合員は年々減少している。農業協同組合の合併に伴い組織が再編され組織が広域化されている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
町としては、組合行事に積極的に参加し、畜産農家の意見を注意深く聞ながら、事務局(津山農協、令和2年度からは晴れの国岡山農協)の運営をサポートしてきた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
畜産農家の高齢化、飼料価格の高止まり等により、経営に対する将来的な不安が高まっている。これを受けて、町からの支援を強化して欲しいとの声が多く出されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	・組合員の飼育技術、生産意欲の向上により、飼育頭数の減少に歯止めをかけている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	・鏡野町の肉用牛振興の核となる団体であり、助成は妥当である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	・現状で適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 説明	・組合員の高齢化、後継者不足等による減少により、組合活動が停滞してきている。
	<input type="checkbox"/> 目標水準に達している		
⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)			
<input type="checkbox"/> 影響がない	理由 説明	・生産組合の活動規模縮小により、畜産業の衰退を招くおそれがある。	
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある			
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある	理由 説明	・保留牛補助金、受精卵供給事業補助金、恩原高原・富公共育成牧場を一体的かつ効果的に活用することで、町内の肉用牛の生産効率向上を図る。	
<input type="checkbox"/> 改善余地がない			
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	・H22年度から補助金額を削減している。これ以上の削減は、組合活動の停滞、ひいては生産意欲の減退につながる。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	・必要最小限の業務時間である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	・組合員も賦課金を負担して活動を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠	
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・子牛価格は、高値で推移していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で流通が止まる恐れがあり、農家経済への影響が心配される。 ・高齢化が進み、組合員数の減少に歯止めがかからず、飼養頭数も減少傾向が続いている。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 	
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)	